

クリニカルパス通信

クリニカルパスとは？



クリニカルパス

1985年に米国のKaren Zanderによって開発され1995年頃より日本に導入されました。

日本クリニカルパス学会によると「患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの偏位を分析することで医療の質を改善する手法」と定義されています。

パスのメリットは？

病院・医療従事者のメリットは、医療が標準化される、チーム医療が推進される、教育ツールとして仕様できる、病院経営も改善されるなどが言われています。患者・家族にとっては入院中の経過や治療内容がわかりやすく安心感して入院生活を送ることができることなどがあります。

新パス紹介

10月6日のパス委員会にて新しく7個のパスが承認されました！

1. 胸部外傷ドレナージなし（外科・呼吸器外科）
2. 胸部外傷ドレナージあり（外科・呼吸器外科）

胸部外症で血気胸を来した患者に適用します。胸腔ドレーンを留置した場合としない場合の2種類を作成しました。

3. 直腸低位前方切除術（外科・呼吸器外科）

大腸切除パスを結腸と直腸にわけました。食事開始などを1日遅らせたものです。

4. 化学療法汎用（外科・呼吸器外科）

CVポートを使用しない化学療法に使います。

5. 口蓋裂two flap（形成外科）

6. 口蓋裂Furlow（形成外科）

口蓋裂の2種類の手術にてそれぞれ使用します。

7. 食物経口負荷試験1泊2日2歳未満（小児科）

小児の食物アレルギー検査を1泊2日で行うパスです



2017年4月～10月累計パス適用数ランキング

第1位：フォローアップ心カテ手首用（循環器内科）	64
第2位：軽症外傷（外科・呼吸器外科）	53
第3位：白内障手術（眼科）	36
第4位：大腸ポリープ切除パス（外科・呼吸器外科）	33
第5位：ERCP/EST（外科・呼吸器外科）	26





現在運用中のパスは112個

外科・呼吸器外科	71
形成外科	15
眼科	5
婦人科	4
内科	2
整形外科	2
脳神経外科	2
泌尿器科	2
小児科	3
循環器内科	1
看護科	5

平成29年度第1回ミニパス大会

10月31日に今年度第1回ミニパス大会が開催されました。

- 「眼科クリニカルパス 3年を振り返って」
眼科 板家 佳子
- 「前立腺針生検パスの検討」
泌尿器科 松本 博臣

お二人には現在までに使用してきたパスについて現状と問題点を報告していただきました。会場には総数42名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。



【2017年8～10月パス適用率】

